

G-Space Geo3D viewer 簡易操作マニュアル

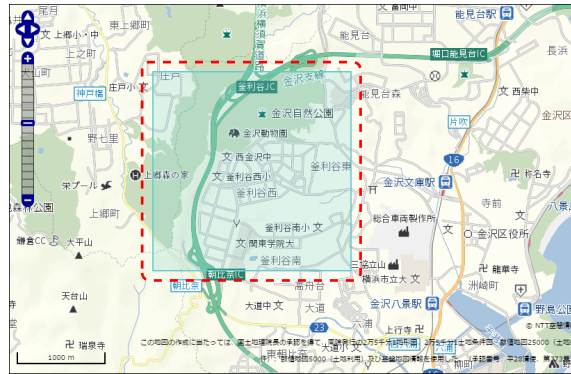
● G-Space GEO3D Viewer ダウンロード・インストール



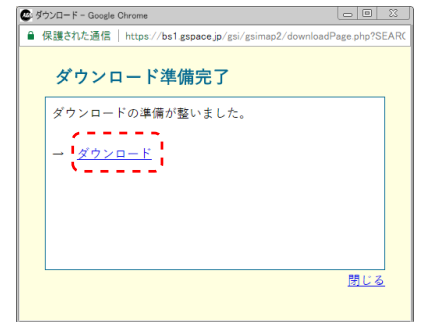
地形 3D モデルの表示には事前に
「G-Space Geo3D Viewer」プログラムの導入が必要です

ログイン画面にて G-space Geo3D Viewer のダウンロードを行います。ユーザー ID とパスワードを入力し、『G-Space Geo3D Viewer ダウンロード』ボタンをクリックしてください (G-Space ログイン後に、下記の『断面・地形 3D』タブ内の『G-Space Geo3D Viewer ダウンロード』ボタンからでもダウンロードできます。) 手順に従い、G-space Geo3D Viewer をインストールしてください。

● 3D モデル作成

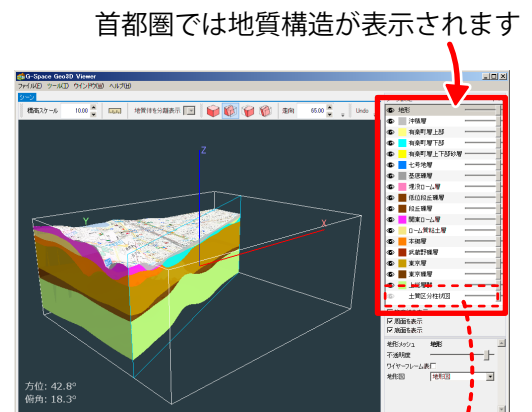
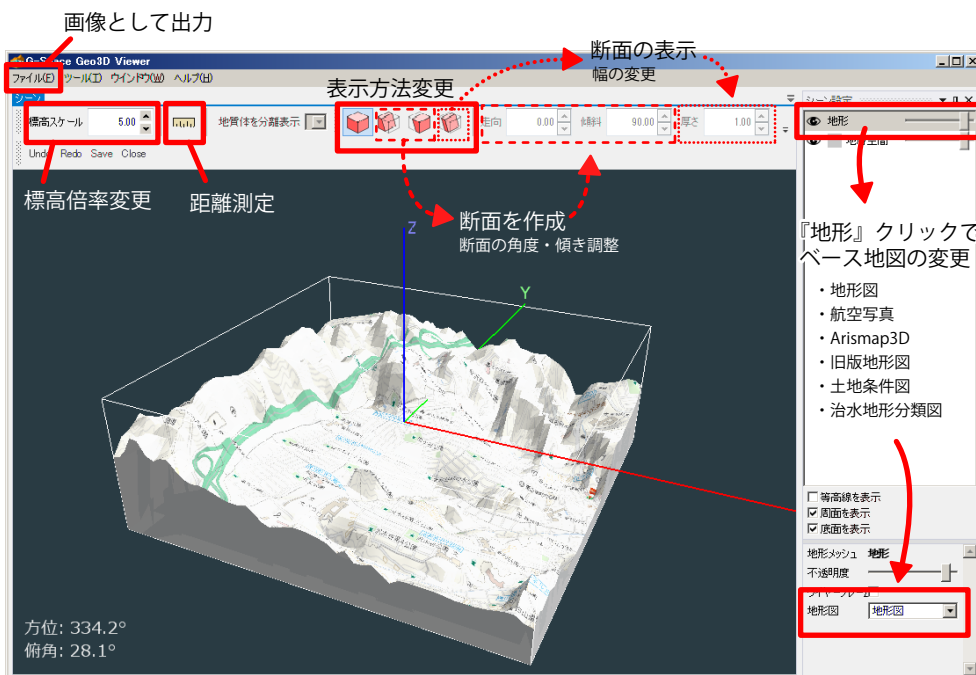


地図上でドラッグし、領域指定をしてください。
地形 3D モデルは日本全国で作成可能です。
※指定可能な領域は 3km 四方です。



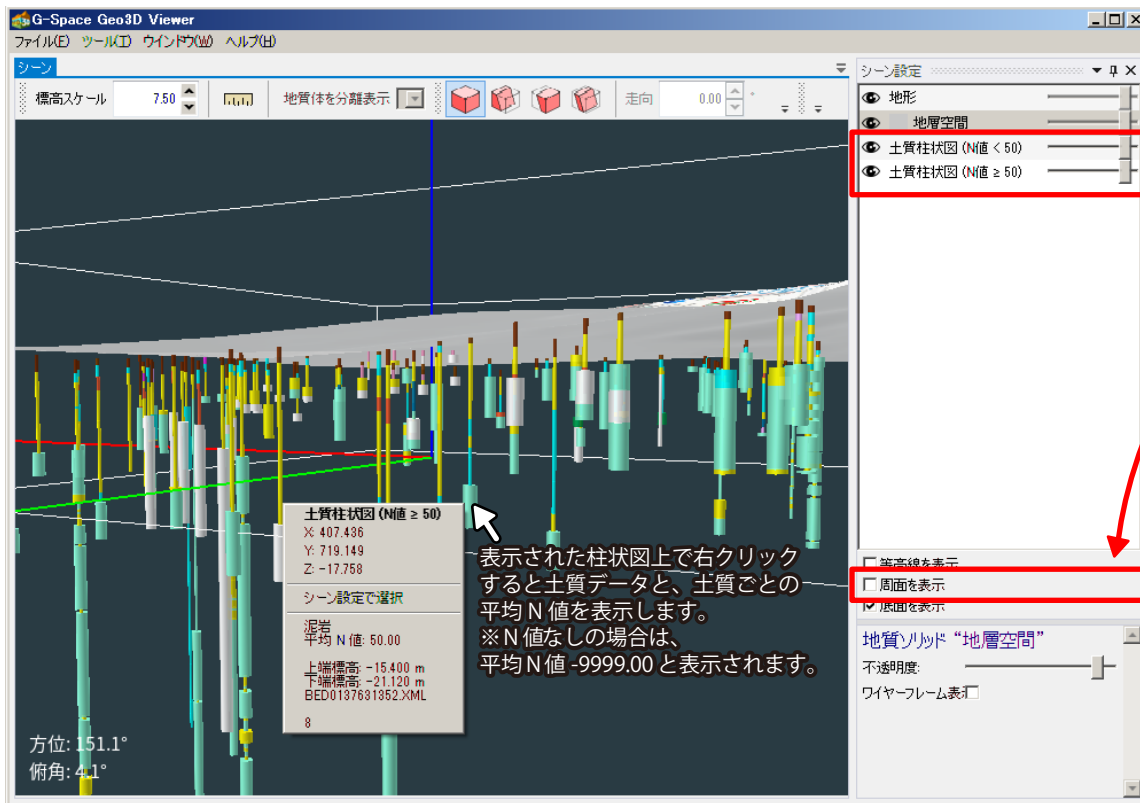
領域指定後、ダウンロードウィンドウが開き、モデル作成中のメッセージが表示されます。ダウンロードボタンから完成したモデルをダウンロード、保存、開くの手順で 3D モデルが表示されます。モデルの完成後はダウンロードウィンドウを閉じてください。
※モデル作成と表示には時間がかかることがあります。
※使用ブラウザにより挙動が多少異なります。

● 3D モデル表示 G-Space Geo3D Viewer の主な機能



『土質区分柱状図』クリックで、
選択エリア内のボーリング柱状図を表示

● ボーリング柱状図表示機能



土質柱状図を表示、
周面を表示をオフと設定すると、
ボーリング柱状図が
表示されます。

※ボーリングの孔口標高は、調査地点の標高データ (T.P.) に統一してあります。